

# 座席/段差（ホール内）

## ■座席/段差の現状の問題点1

座席	6列目。転換するには狭い
	1階車椅子席。見えない恐れ
	座席が足りない→移動出来る人は席に
	車椅子の形や身体の大きさによって舞台の見え方が変わる
	演劇ホールの2階は塀が低くて、前の人の頭が見えなくて良い。車椅子が増えるとどう配置にするのか。スペースが足りなくなる。
	車椅子の勾配が無いときは、車椅子が重なって見えづらい。常設の椅子に座るときの車椅子の置き場
	車椅子席が少ない。介助者と隣に
	車椅子席と前の席との高低差
	ホールの車椅子スペースが少ない
	大ホール近くに車椅子専用トイレが無い
	車椅子席は手すりがかぶって舞台が見えない
	車椅子席の選択肢があるといい
	車椅子用の段があればスタンディングの公演でも見やすい



### <短期的な解決の方向性>

- 座席については障害の特性によって利用のしやすさやは様々である。また、同じ障害だからと言って皆が同じスペースでいいといわけでは無いため、高齢者、障害者等の座席の配置は、固定せず、複数の選択が可能なるよう配慮する
- 車いす使用者用客席等のスペースの中又はできる限り近い位置に同伴者用座席を設けること
- 聴覚障害者用座席は、集団補聴装置の利用に配慮し、手話通訳や字幕・文字情報等が見やすい位置に設ける
- 車椅子席からトイレまでの導線を確保する（利用者が直ぐにトイレまで移動が出来るように）

### <中長期的な解決の方向性>

- 車いす使用者用固定座席を設置する場合には、出入口から容易に到達できると共に、避難し易く、舞台やスクリーン等が見やすい位置に設ける。できるだけ同伴者と共に利用できるように配慮する
- 新しく車椅子席を設ける際は車椅子に座った目線からでも舞台全体が見渡せるか、ユーザーの利用目線に合わせた設計をする。また、1箇所場所に場所を固定することなく選択が出来る様にする

# 座席/段差（ホール内）

## ■ 座席/段差の現状の良かった点

今回のフィールド調査では、下記のように車椅子でも見えやすいという高評価が多く挙げられた

良かった点	座席の前後左右には十分なスペース
	眺めが良い。開けて広々としている
	演劇ホール2階車椅子席見やすい
	演劇ホール2階車いす席は視界が見やすい
	演劇ホールの車椅子用座席は前が低いので見やすい
	車椅子席の配置。前席との落差があって見やすい
	前舞台の時はすぐ目の前に舞台

## ■ 座席/段差の現状の問題点2

段差	簡易でも良いので、白いテープで階段の縁がわかるのは良い
	階段のへりがわかりづらい
	大ホールの客席階段が段のへりが見えづらい
	階段がスロープに見える
	客席階段不便（色味・段差がバラバラ）
	設計上の階数と現実の階数のわかりづらさ



### <短期的な解決の方向性>

- 段差のへりがわかりづらく、つまづきや転倒の恐れがある。特に高齢者や足が不自由なユーザーが利用する際はサポートが出来る体制を整える
- 簡易的にへりに床とのコントラスト比がある配色のテープ等を設置、利用者に注意喚起をする
- イベント開演時や終了時や多くの方の利用が想定される。安全に移動出来る様に足元への注意喚起のアナウンスや急いで移動することないように来場者に促しをする